



## リハビリテーション科職員の紹介

今年入職したリハビリテーション科職員の自己紹介をさせていただきます。

2月に入職しました徳山弘樹です。11年目の理学療法士です。

以前勤めていた病院では、交通事故・転倒などによる骨折の術後や脳梗塞、肺炎などの患者様のリハビリを担当しておりました。また、デイケアや訪問リハビリなど介護部門も担当しておりました。ちなみに、私は学生時代に当院に臨床実習でお世話になっており、安芸津で働けることがとても嬉しいです。

皆様の治療をお手伝いできるように頑張りますので、よろしくお願いします。



徳山弘樹

4月よりリハビリテーション科に配属となりました理学療法士の川崎翼と申します。理学療法士免許を取得して今年で7年目になります。

私の趣味は、休日にチーズケーキやスパイスカレーなど、料理をすることです。おいしく出来たときはとても嬉しいです。また、出来たものを家族や友人と食べることも楽しみの一つです。日々全力でリハビリを提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



川崎 翼

4月よりリハビリテーション科に配属となりました理学療法士の才野瀬可奈と申します。現在4年目で、昨年度までは急性期病院で整形外科、外科術後、呼吸器や内科疾患を中心に担当していました。趣味は旅行することで、去年は北海道や屋久島に行き、自然を満喫しました。

私は地元が竹原市で、安芸津町も昔からなじみのある土地です。患者様のためにより良いリハビリを提供していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



才野瀬可奈

## 絵画のご紹介



「岩海苔を採る人」



「帰り道」

このたび、寺本清子様より地元広島画家北島弘隆氏の絵画2点を寄贈していただきました。

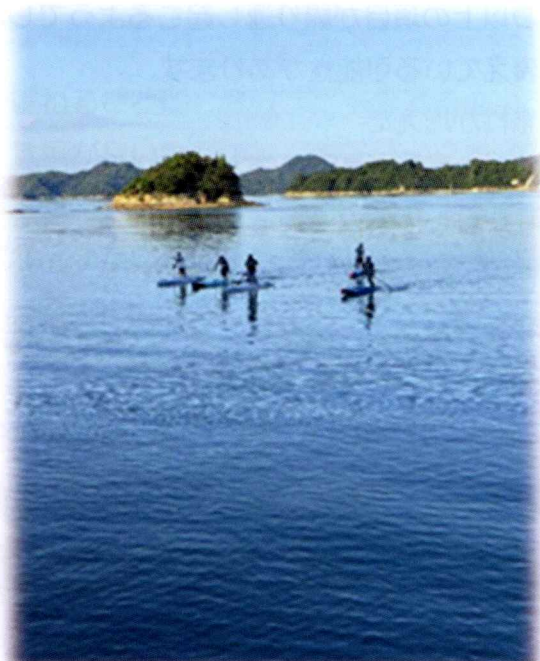
北島氏の「公的機関に絵画を飾り、色々な人に自分の絵を見ていただいて、和んでいただきたい」という思いを受け、当院への寄贈を申し出られたものです。

2階手術室前の廊下に「岩海苔を採る人」、健康管理室に「帰り道」を展示しておりますので、ご来院の際は是非、ご覧ください。

こんにちは、安芸津病院 3 階病棟で看護師をしている山口理恵です。

普段は看護業務に励みながら、災害医療活動や趣味のスタンドアップパドルボード（SUP）をするなど、充実した日々を送っています。

忙しい医療現場から離れ自然豊かな大崎上島の美しい海で SUP を楽しむ事で、心と体をリフレッシュしています。また、休日には SUP のインストラクターやガイドとして活動し、このスポーツの魅力を広めることにも努めています。



昨年は職場の理解とサポートを受け 53 カ国 1200 人が参加した世界大会に出場しました。今年はフロリダ（アメリカ）の大会に挑戦する予定です。

職員の皆様の理解と支えがあってこそ、この活動を続けられていることに感謝しています。

また、災害支援や防災活動にも取り組んでおり、国際緊急援助隊医療班（JICA JDR）への隊員登録も果たすとともに、院内では防災チームとして活動を始めました。SUP で培った判断力、精神力、忍耐力を活かしながら災害医療を学んでいます。

SUP は年齢や経験に関係なく誰でも気軽に始められるスポーツです。自然と一体になり心と体をリフレッシュさせる最高の時間を体験してみませんか？大崎上島の美しい海で SUP の楽しさを一緒に味わいましょう！

これからも看護、SUP、災害支援を通じて、多くの人に笑顔と安心を届けたいと思いますので、応援よろしくお願ひします。



## 認知症とはどのような病気？

認知症は高齢期に最もかかりやすい病気の一つで、脳に障害が起きたことで生じる、病的なものの忘れです。「中核症状（記憶障害、判断力の障害等）」と「行動・心理症状（暴言・暴力行為、徘徊等）」の2種類の症状が生じます。認知症にはさまざまなタイプがあり、進行スピードや症状は異なりますが、時間の経過とともに重症化していくことは共通しています。

## 予防するには？

正常な状態と認知症を発症する中間的な時期である「軽度認知障害（MCI）」の段階で治療を始めることが、より効果的であることが分かっています。軽度認知障害では、年齢と比べてもの忘れなど記憶力の低下は見られますが、日常生活は送れる状態です。この時期に予防に取り組んだり、適切な治療を受ければ、発症を延ばす効果が期待できます。次のような気になる症状があれば、勇気を出して専門の医療機関を受診してください。当院にも専門知識を持ったスタッフがいますので、主治医や看護師にご相談ください。

次の2つ以上の項目が繰り返し起こるようでしたら、認知機能が衰えている可能性があります。

- もの忘れが増えた
- 日付や曜日が分からない
- 簡単な計算ができなくなった
- テレビの内容が理解できなくなった
- 料理や家事などができなくなり始めた
- 話しかけられると今までしていたことを忘れてしまう
- 趣味など今まで楽しかったことへの意欲がなくなった

リハビリテーション科 三宅 恭子、内田 理沙



## 編集後記

朝晩が肌寒くなり、秋の訪れを感じる季節になりましたが皆様、如何お過ごしでしょうか。

安芸津町で秋のイベントといえば、火とグルメの祭典・あきつフェスティバルですね。今年は、11月9日・10日に安芸津市民グラウンドで開催されるそうです。当院も毎年参加させていただいていますが、昨年は、240名の方に骨粗鬆症テストを受けていただきました。骨粗鬆症の診断まではできませんがご自身の骨粗鬆症の程度を把握することができるものでした。その他、恒例の院長バンドによるギター演奏、転倒予防体操を行いました。

今年度も安芸津病院のTシャツ（ピンク色・紺色）を着て参加させていただきますので、皆様楽しみにしておいてください。

当院は、「地域に密着した病院」「健康寿命の延伸」をキーワードに病気の予防から治療、在宅への復帰まで、地域と一体となって地域住民の健康を支える役割があると思っています。そのため、地域のイベントにできるだけ参加して、転倒予防体操を広める活動等を行っていきたく思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



看護部長 胡 美恵